

# 令和7年第3回東員町教育委員会会議録

東員町教育委員会

- 1 開 会 令和7年 3月24日(月) 午前9時30分
- 2 閉 会 令和7年 3月24日(月) 午前10時30分
- 3 場 所 東員町総合文化センター 第1研修室
- 4 出 席 者  
教育長 日置 幸嗣  
委員(職務代理者) 向山 節雄  
委員 木村 陽一  
委員 松宮 あけみ  
委員 川瀬 理絵  
<事務局> 事務局長 中村 幹人  
教育総務課長 吉田 尚生  
学校教育課長 三林 大高  
社会教育課長 丸山 太  
学校教育課主査 目黒 真平  
教育総務課課長補佐 種村 大輔
- 5 会 議 事 項 別紙のとおり
- 6 出 席 委 員  
-----  
-----  
-----  
-----
- 7 会議録調製者 教育総務課課長補佐

(別紙) 会議事項

1 開会の辞

(事務局長)

ただ今から、令和7年第3回東員町教育委員会を開会いたします。  
それでは、教育長に進行をお願いいたします。

2 前回会議録の確認

(教育長)

それでは、しばらく時間をとりますので、前回会議録の確認をお願いいたします。

<前回会議録の確認>

何か質問はございますか。無ければ会議終了後に署名をしていただきます。

3 事務報告、事務計画

(教育長)

事務報告、事務計画について説明します。

<以下、事務報告、事務計画資料により説明>

何か質問はございますか。無ければ議事に移ります。

4 議事

報告第2号 令和7年3月議会定例会の報告について

(教育長)

報告第2号 令和7年3月議会定例会の報告について、事務局の説明を求めます。

(事務局長)

報告第2号 令和7年3月議会定例会の報告について、ご説明いたします。

<以下、報告第2号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。

無いようですので、次に進めさせていただきます。

報告第3号 令和6年度総合学力調査の結果について

(教育長)

報告第3号 令和6年度総合学力調査の結果について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課主査)

報告第3号 令和6年度総合学力調査の結果について、ご説明いたします。

<以下、報告第3号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。

無いようですので、次に進めさせていただきます。

報告第4号 東員町教育委員会職員の人事異動について

(教育長)

報告第4号 東員町教育委員会職員の人事異動について、事務局の説明を求めます。

(事務局長)

報告第4号 東員町教育委員会職員の人事異動について、ご説明いたします。

<以下、議案第4号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。

無いようですので、次に進めさせていただきます。

議案第11号 東員町外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則について

(教育長)

議案第11号 東員町外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長)

議案第11号 東員町外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則について、ご説明いたします。

<以下、議案第11号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。無ければ、承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

議案第12号 東員町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

(教育長)

議案第12号 東員町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長)

議案第12号 東員町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について、ご説明いたします。

<以下、議案第12号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。無ければ、承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

議案第13号 東員町学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について

(教育長)

議案第13号 東員町学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長)

議案第13号 東員町学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について、ご説明いたします。

<以下、議案第13号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。無ければ、承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

議案第14号 東員町通級指導教室実施要綱の一部改正について

(教育長)

議案第14号 東員町通級指導教室実施要綱の一部改正について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長)

議案第14号 東員町通級指導教室実施要綱の一部改正について、ご説明いたします。

<以下、議案第14号資料により説明>

(教育長)

ご質問はございますか。無ければ、承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

5 その他

・共催・後援について

(教育長)

共催第1号 三遊亭鯛好改メ三代目三遊亭百生真打昇進襲名披露公演  
について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

共催第1号 三遊亭鯛好改メ三代目三遊亭百生真打昇進襲名披露公演  
について、ご説明いたします。

(教育長)

ご質問なければ、共催第1号について後援をさせていただきます。

(教育長)

後援第14号 むうの木芸術振興プロジェクト「子どもミュージカ  
ル・ぼくと14人のボクの夏休み」、

後援第15号 第16回「はたらく人にありがとう」メッセージ募集  
について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課)

後援第14号 むうの木芸術振興プロジェクト「子どもミュージカ  
ル・ぼくと14人のボクの夏休み」、

後援第15号 第16回「はたらく人にありがとう」メッセージ募集  
について、ご説明いたします。

(教育長)

ご質問なければ、後援第14号、後援第15号について後援をさせて  
いただきます。

・卒業式・卒園式について

(教育長)

卒業式・卒園式に参加いただいた感想など頂いてよろしいでしょうか。

(委員)

今年は初めて違う小学校の卒業式に参加させていただき、普段とは違  
う地域の子どもたちの姿を見ることができました。

全員で歌や手話を一生懸命覚えて発表している姿がとても印象的で、それぞれの地域で子どもたちがしっかり育っていることを実感しました。

いつもは少人数の学校を見ることが多いのですが、この小学校は人数も多く、こうした子どもたちがまとまって中学生になっていくと思うと、とても感慨深く、素晴らしい経験になりました。

(委員)

私が参加した小学校の卒業式では、子どもたちはみんな緊張しているのかと思っていましたが、実際には在校生とハイタッチをするなどリラックスした様子の子もいて、もちろん涙を流す子もおり、それぞれの子どもらしい姿が見られました。呼びかけも、子どもたちに合わせて工夫されていて、とても温かい式でした。卒業証書には写真も入っていて、思い出として残る素敵なものになっていました。

また、保育園・幼稚園の卒園式でも、一人ひとりに寄り添った形で式が行われており、子どもたちの笑顔から、小学校への期待や楽しみな気持ち伝わってきました。

(委員)

中学校では、2年生が送辞を、3年生が答辞を読んだのですが、「中学生でこんな表現ができるんだ」と驚くほど内容が素晴らしく、とても感動しました。学校全体にそうした雰囲気があり、しっかりと成長していること、そして、その背景を感じることができました。

小学校では、在校生がとても元気で、大きな声で歌える子どもたちで、礼儀も正しく、印象的でした。先生は「自己肯定感」をしっかりと意識しておられ、「小学校で培ったことを中学校でもしっかりと活かして、チャレンジして行ってほしい」といったメッセージを伝えておられました。子どもたちに、基本的信頼感・自己肯定感・自己有能感がしっかりと育まれていることを感じました。

幼稚園では園児の数も多く、大変な面もあったと思いますが、先生方が本当に頑張っておられ、心に残る感動的な卒園式でした。

(委員)

卒業式は、学校の中で最も厳粛で大切な行事ですから、私たちも襟を正し、正装で参加させていただいています。

今年も、中学校・小学校・幼稚園の3校・園に参加させていただきましたが、どこも子どもたちがしっかりと指導されており、そのご指導に

あたられた先生方にまず感謝の気持ちを伝えたいと思いました。

中学校の卒業式では、定年退職を迎えられる校長先生が「これは奇跡の卒業式です」とお話しされ、その理由として一つ目は、7, 777番目の生徒が卒業すること、二つ目は、卒業証書を最初と最後に受け取った生徒が同じ生年月日であること、そして三つ目に、「私に見送られて引退できること」とおっしゃっていました。

校長先生の式辞は、ご自身の人生の歩みをふまえながら、「あきらめてはいけない。頑張れば何とかなる」と語られ、会場全体が胸を打たれました。通常は子どもたちが涙を流す場面が多いですが、この卒業式では教職員の皆さんも多くの方が涙を流されていて、まさに感動の卒業式となりました。

#### (事務局長)

卒業式に参加して、まず、感じたことが、男親が多いこと、昔は男親が参加することがなかったが、良い時代になったと感じました。

あと、卒業式ではもっと子どもたちが泣くのかと思いましたが、お聞きすると前日にお別れ会を行っているとのことで、そこで涙しているとの事でした。

#### (教育長)

卒業式は、まさに「最後の授業」であり、これまでの集大成として、子どもたちの姿が表れる大切な場だと改めて感じました。

その日には、子どもたちがすべての力を出し切って、これまで積み重ねてきたものを堂々と示してくれる、そんな空気がありました。

委員もおっしゃっていましたが、中学校の答辞では、生徒が自分の体験をもとに凜とした態度で言葉を紡いでおり、その姿には本当に感動しました。自分の人生を通して得た思いを、あれほどしっかりとした姿勢で語るができる。それを見て、「子どもたちは本当に育っている」と、私自身も深く感じました。

もちろん課題はありますが、一方で、そうした成果が確実に積み上がっていることも事実であり、これは16年一貫教育プランの一つの成果でもあると感じました。その出口部分で、ひとつの到達点を垣間見ることができました。

コロナ禍では卒業式も規模を縮小し、関係者のみの参加・接触の制限など、閉鎖的な形を取らざるを得ませんでした。しかし、そうした制限を経た今だからこそ、つながりや節目の大切さがより強く実感されてい

ます。

現在は、「以前の大事なものをどう回復させていくか」が大きな課題となっています。生徒数の大小によって当日の内容に違いはあるものの、前日にお別れ会を行ったり、呼びかけを別日に設けたりと、それぞれの工夫が見られました。1年間の流れの中で卒業式をどのように位置づけ、つくりあげていくかが、今後ますます問われていくと感じています。

そして何より、卒業式という場は、卒業生にとって大きな節目であると同時に、在校生にとっても次のステージへ進むための大切な一歩です。

この意義深い時間を、今後も大切にしていきたいと思えますし、見えてきた課題については、新年度からまたしっかりと取り組んでいかなければと感じています。

他に何かございますか。

(委員)

教育委員は、普段はそれぞれ関わりの深い地域の学校や園の卒業式・卒園式に参加させていただいていますが、委員のお話を聞いて、あらためて「いつもと違う学校や園で、新たな気づきを得ること」も大切なのではないかと感じましたがどうでしょうか。

(教育総務課長)

ご意見については、検討させていただきます。

・次回定例教育委員会日程について

(教育長)

次回定例教育委員会日程について、事務局お願いします。

(教育総務課長)

次回ですが、令和7年4月22日(火)午前9時30分から東員町教育委員会を開催することとしてよろしいか。

(全委員)

異議なし。

6 閉会の辞

(事務局長)

これもちまして、令和7年第3回東員町教育委員会を閉会いたします。